

# 慶應言語学コロキウム

## ドイツ語学と生成統語論

講師: 稲葉 治朗 氏 (東京大学総合文化研究科准教授)

日時: 2016年7月9日(土)・10日(日) 13:00-18:30

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

参加費無料 申込不要 (使用言語: 日本語)

本コロキウムでは、ドイツ語におけるどのような言語現象が生成文法研究において主に議論されてきたか(議論されているか)、その一端を紹介する。同じ西ゲルマン語である英語と比較すると、ドイツ語の統語的特徴としては、定動詞第二位(V2)、OV語順、自由語順などが挙げられるが、これらはいずれも語句の配列に関わるものであり、本コロキウムでも語順に関わるテーマを中心に紹介したい。基本的なドイツ語の文法現象、およびそれらの生成統語論における位置づけを導入として示したうえで、不定詞構文、文補部や関係文の外置などを主なテーマとして取り上げる予定である。余裕があれば、統語理論と語順という問題についても触れたい。なお、「外国語としてのドイツ語」の知識は特に前提としない。

主催: 慶應義塾大学言語文化研究所  
協力: 慶應義塾大学次世代研究プロジェクト B

<お問い合わせ先>

〒108-8345 港区三田 2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所

電話: 03-5427-1595 (事務室直通) メール: genbu@icl.keio.ac.jp

<http://www.icl.keio.ac.jp>